

【櫛引地域】 くしびきフルーツ振興プロジェクト事業

【事業年度：H30～】

取組の背景や経緯

■取組の背景

櫛引地域は、多品種少量生産ながら、四季折々のフルーツを楽しめる「フルーツの里くしびき」として果樹振興を図ってきたが、果樹農家の高齢化に伴う離農や規模縮小により遊休樹園地等の増加が顕在化している。果樹産地としての生産基盤を維持していくためには、園地継承と担い手確保対策、さらに、フルーツの里としてのブランド化を推進し、高品質な果実の安定生産と付加価値向上が必要。

■取組の経緯

地域の特色を生かした果樹生産と観光果樹園の振興を図るため、行政、産直施設、観光協会、観光施設等を構成員として「櫛引地域産業振興プロジェクト推進協議会」を組織し、農業と観光を活かした地域産業の活性化事業を実施。

事業概要

「フルーツの里くしびき」としての果樹振興を図るため、R2年度に関係機関等による専門部会を立ち上げ、「園地継承対策・後継者確保」、「生産者の所得向上」、「産地PR」の三本柱で構成する『櫛引地域果樹産地強化プラン』の策定に向けて検討を進めており、事業の具体策を盛り込むこととしている。

ブランド化に向けた取組みとして、H30年度からSNSによる「くしびきフルーツ日記」等の情報発信している。

また、R3年度は、降雹被害農家支援事業として、市内飲食店等と連携した「くしびき☆えくぼフルーツフェア」を実施した。

事業効果と今後の展望

■事業効果

- ・SNS「くしびきフルーツ日記」の配信

R2配信実績：62回、R2冊子発行数：500冊

- ・「くしびき☆えくぼフルーツフェア」を実績（降雹被害果樹の対策事業）
【参加農家数】6名 【参加店舗数】23店舗 【出荷販売額】575,910円
【出荷数量】1,692kg（りんご：1,043kg、西洋梨：513kg、日本梨：136kg）
【取扱商品】りんごのタルト、アップルパイ、日本梨のアイスクリーム 他
⇒櫛引産フルーツの知名度向上、ブランド化の推進、生産者の営農意欲向上

■今後の展望

R4年度当初での『櫛引地域果樹産地強化プラン』の策定を目指すとともに、園地継承対策・後継者確保、生産者の所得向上等の課題解決に向け、関係者が一体となって各種事業に取り組み、「フルーツの里くしびき」として果樹振興を図る。なお、R4年度以降は、フルーツ加工品の商品開発、販売拡大にも取り組む。



観光果樹園でのもぎ取り体験



えくぼフルーツフェア参加店舗取扱商品